

刊行に寄せて



文部科学大臣

林 芳正

これまで我が国の科学技術は大きな進展を遂げ、経済成長と豊かな社会を実現してきました。近年は、イノベーションを巡る国際的な競争が激化し、イノベーションが生み出されるまでのプロセスが多様化・加速化するなど、世界的に科学技術イノベーション創出を取り巻く環境は、大きな変革期にあります。こうした中、「Society 5.0」を実現し、継続的にイノベーションを創出していくためには、人材力、知の基盤、研究資金等の科学技術イノベーション創出の原動力となる基盤的な力がより一層重要となっています。

第5期科学技術基本計画においては、いかなる変化や新しい課題に直面しても、柔軟かつ確に対応できる基盤的な力を備えておく必要があります、そのため、高度な専門的知識に加え、従来の慣習や常識にとらわれない柔軟な思想と斬新な発想を持つ人材を育成・確保するとともに、イノベーションの源である多様で卓越した知を生み出す基盤を強化していくこととしています。また、これらの科学技術イノベーション活動を支える資金については、政府研究開発投資を拡充していくとともに、より効果的かつ効率的な活用を推進する必要があります。

このような状況を踏まえ、本白書では、第1部「科学技術イノベーションの基盤的な力の更なる強化に向けて」において、科学技術イノベーション創出の原動力となる、大学、公的研究機関、産業界の人材力、知の基盤、研究資金の基盤的な力についての現状分析を行い、今後の取組の方向性を示しています。また、特集においては、科学技術イノベーションを通じたSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた我が国の取組を紹介します。

科学技術イノベーション創出を取り巻く環境の変革期にある今、明るい未来の創出に向けて、科学技術イノベーションを今後とも強力に推進することとし、イノベーション創出の担い手である、大学、公的研究機関、産業界が共創し、その力を最大限に発揮できるよう、全力で取り組んでまいります。

本白書が、国民の皆さまにとって科学技術の振興に関する施策の現状を知っていただく一助となるとともに、関係者の皆さまにとって今後の取組の参考となれば幸いです。